

看護学科における国際交流活動の現状と課題 — 韓国啓明大学看護学部との国際交流 —

有田 久美^{1),2)}, 大城 知子^{1),2)}, 黒髪 恵^{1),3)},
石橋 曜子^{1),2)}, 西村 和美^{1),2)}, 山下 千波^{1),4)},
田中 美加^{1),5)}, 黒木 求^{1),2)}, 宮林 郁子^{1),2)}

- 1) 福岡大学医学部看護学科 平成 24 年度国際交流委員
- 2) 福岡大学医学部看護学科
- 3) 福岡大学病院看護部
- 4) 福岡大学筑紫病院看護部
- 5) 東海大学健康科学部看護学科

要旨：本研究の目的は、看護学生と教員を対象の「国際的視野を養う」ことを目標に福岡大学医学部看護学科で独自に実施されている、韓国啓明大学看護学部との国際交流について振り返り、その現状から課題を提案することである。2007年の看護学科開設以来、2012年度まで、過去5回の相互研修の中で、2011年度の福岡大学から啓明大学への研修と2012年度の啓明大学から福岡大学への研修の2回の国際交流を振り返った。その結果、学生・教員ともに研修の満足度が高く、国際的視野の拡大、異文化の理解、教員の意識改革などに役立っていることが示された。この啓明大学との交流は、看護学科独自の交流の方法で軌道に乗りつつあるが、今後も長く続けていくためには、運営システムの構築、国際交流に関わる学生ボランティアの育成、広報活動の充実、教員の国際交流への積極的参加などの課題があることが明らかとなった。

キーワード：国際交流，韓国，看護学生，看護教員，看護学科